

2

化学物質エコ調査はこうして行われます

化学物質エコ調査は、分析法の開発に始まり、サンプリング、分析、分析結果の公表の流れで実施されます。

分析法の開発

化学物質の環境中の残留状況を調べるためには、それを正確に測定できる分析法が必要です。また、化学物質によって分析法は異なるため、化学物質エコ調査は、分析法を開発しながら進められ、今日までに700件以上の分析法が確立されました。これらの分析法は、化学物質エコ調査以外の環境調査にも使われるようになり、環境調査の技術の向上にも役立っています。

サンプリング

分析に使う空気、水、川底や港にたまった泥などを集めます。このことをサンプリングといいます。化学物質エコ調査では、人が生活しているさまざまな場所でサンプリングを行い、日本全体のようなすをつかむことをめざしています。



空気を集めるエアサンプラー



採水

分析

化学物質の分析では、さまざまな分析機器を使って物質を特定し、その量を明らかにします。



分析結果の公表

分析結果は、毎年、環境省から「化学物質と環境」としてまとめられ、ホームページや印刷物のかたちで公表されています(7ページ参照)。